

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 104-0053

住 所 東京都中央区晴海1-8-8晴海 トリトンスクエアW棟19階

氏 名 東洋埠頭株式会社 取締役社長 原 匡史

(代理人)専務取締役

印

川崎支店長 西 修一

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	東洋埠頭株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区扇町13番1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	H	運輸業, 郵便業
	中分類	47	倉庫業
主たる事業 の内容	倉庫業・港湾運送業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	4,037	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	2022 年度 ～ 2024 年度 (報告年度 2024 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	当社の環境への取り組みについては、ホームページにて紹介しております。 http://www.toyofuto.co.jp/company/company_csr.html

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況(第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	
排出量 (t-CO ₂)	(実) 7,753 (調) 8,341	(実) 7,606 (調) 8,055	(実) 7,506 (調) 6,569	(実) 7,354 (調) 7,354	(実) 7,675 (調) 8,258
削減率		(実) 1.9% (調) 3.4%	(実) 3.2% (調) 21.2%	(実) 5.1% (調) 11.8%	(実) 1.0% (調) 1.0%

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値(任意記載)

原単位等の活動量	-				原単位等の単位	-
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標とした値	
	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)		
排出量原単位等の値	100.0	104.0	105.7	100.8	99.00	
活動量の値	8,896	8,891	8,641	9,325	-	
排出量原単位等の削減率		-4.0%	-5.7%	-0.8%	1.0%	

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	作業効率、保管効率の改善、高効率型設備への更新を推進したことにより、実排出量は1.9%削減できたが、埠頭部門において、ヤード保管の貨物が増えたことで、重機の稼動頻度が上がり、原単位で4%の悪化となり目標を達成できなかった。	
第2年度	作業効率、保管効率の改善、高効率型設備への更新を推進したことにより、実排出量は3.2%削減できたが、全体の取り扱い数量減により、燃料、電気使用量は減少しているが、青果部門(保管温度の低い冷蔵貨物前年比約10%増)、埠頭部門(ヤード保管貨物前年度比約8%増)においてエネルギー効率の悪い貨物の比率が増えたことにより、原単位では5.7%の悪化となり目標を達成できなかった。	
第3年度	作業効率、保管効率の改善、高効率型設備への更新を推進したことにより、実排出量は5.1%削減できたが、埠頭部門において、ヤード保管の貨物が増えたことで、重機の稼動頻度が上がり、原単位では0.8%の悪化となり目標を達成できなかった。	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)		計画期間(第1-3年度)において、実排出量を1%以上削減することを目標としており、作業効率、保管効率の改善、高効率型設備への更新を推進したことで、エネルギー効率を改善し、目標を達成した。
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		計画期間(第1-3年度)において、実排出量を1%以上削減することを目標としており、目標を達成した。 次期計画期間においても目標を達成できるよう、作業効率、保管効率の改善、高効率型設備への更新を推進していく。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況(全社目標)(任意記載)

無し

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○空気調和設備の新設、更新等における措置 冷凍機の更新時期に合わせ、インバーター制御の冷凍機へ更新する。 ○照明設備の新設、更新等における措置 照明器具の更新に合わせ、省エネルギー型設備を導入する。 ○空気調和設備約70%更新済み、計画期間に15%更新していく ○照明設備照明約80%更新済み、計画期間に10%更新していく
<p>第1年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○空気調和設備の新設、更新等における措置 冷凍機の更新時期に合わせ、インバーター制御の冷凍機へ更新した。 ○空気調和設備約75%更新済み。 ○照明設備の新設、更新等における措置 照明器具の更新に合わせ、省エネルギー型設備を導入した。 ○照明設備約83%更新済み。
<p>第2年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○空気調和設備の新設、更新等における措置 冷凍機の更新時期に合わせ、インバーター制御の冷凍機へ更新した。 ○空気調和設備約80%更新済み。 ○照明設備の新設、更新等における措置 照明器具の更新に合わせ、省エネルギー型設備を導入した。 ○照明設備約85%更新済み。
<p>第3年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○空気調和設備の新設、更新等における措置 冷凍機の更新時期に合わせ、インバーター制御の冷凍機へ更新した。 ○空気調和設備約85%更新済み。 ○照明設備の新設、更新等における措置 照明器具の更新に合わせ、省エネルギー型設備を導入した。 ○照明設備約90%更新済み。
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	<p>温室効果ガスの排出量削減目標を達成した。</p>

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
無し	無し	

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	無し
第1年度	無し
第2年度	無し
第3年度	無し

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・エコマーク製品などを優先的に購入する。 ・分別回収ボックスを設置し分別回収に努める。
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ・エコマーク製品（特にコピー用紙）を購入した。 ・各課に分別回収ボックスを設置し分別回収に努め、分別保管するようにした。 ・作業で発生する資材をリサイクルし活用した。（追加実施）
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・エコマーク製品（特にコピー用紙）を購入した。 ・各課に分別回収ボックスを設置し分別回収に努め、分別保管するようにした。 ・作業で発生する資材をリサイクルし活用した。（追加実施）
第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・エコマーク製品（特にコピー用紙）を購入した。 ・各課に分別回収ボックスを設置し分別回収に努め、分別保管するようにした。 ・作業で発生する資材をリサイクルし活用した。（追加実施）

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移(1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源CO ₂ 排出量	7,753 t-CO ₂	7,606 t-CO ₂	7,506 t-CO ₂	7,354 t-CO ₂
原油換算エネルギー使用量	3,934 KL	3,990 KL	3,919 KL	4,037 KL
事業所の数	2	2	2	2

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量(t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
川崎支店	川崎市川崎区扇町13番1号	5,364	5,080	5,075	5,093

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が500kl以上1,500kl未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量(t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
東扇島支店	川崎市川崎区東扇島27番地1	2,389	2,526	2,431	2,261